地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況（令和4年3月31日時点）

団体名	業種名	事業名	施設名
	介護サービス事業	介護老人保健施設	

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	広域化等	民間活用				
			指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	地方独立行政法人への移行	
			○				

抜本的な改革の取組状況

取組事項	指定管理制度

		（取組の概要）	（全部と一部の別）		（実施（予定）時期）		
実施済	○	平成２３年度より指定管を代行制から料金制に移行し、起債償還部分については町が負担。施設運営については、介護報酬等の収入により指定管理者が担うこととしている（入所（短期含む）・通者リハビリテーション・訪問リハビリテーション）。	全部廃止	一部廃止	平成		
実施予定					23	4	1
					年	月	日

	①診療所化・介護施設化
	②簡易水道事業の飲料水供給施設化
	③事業目的の完了
	④民営化・民間譲渡による廃止
	⑤広域化による廃止
	⑥その他

（取組の効果額）

10	百万円(年)

（取組の効果額内訳）

①人件費　年▲５
②委託費　年▲5
計　年▲１０

		（取組の概要）	（検討状況・課題）
検討中			

地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況（令和4年3月31日時点）

団体名	業種名	事業名	施設名
美瑛町	水道事業	―	―

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	広域化等	民間活用				
			指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	地方独立行政法人への移行	
							●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

抜本的な改革を取り組むための体制（知見やノウハウ、人員など）が整っておらず検討に至っていない。今後の給水人口の推移に応じた水道収益の将来予想、経営状況及び経営戦略の見直し、将来収支予測を分析したうえで、必要に応じて現行の経営体制について検討を行う。

地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況（令和4年3月31日時点）

団体名	業種名	事業名	施設名
美瑛町	下水道事業	公共下水道	ー

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	広域化等	民間活用				
			指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	地方独立行政法人への移行	
							●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

抜本的な改革を取り組むための体制（知見やノウハウ、人員など）が整っておらず検討に至っていない。今後の排水人口の推移に応じた下水道使用料の将来予想、経営状況及び経営戦略の見直し、将来収支予測を分析したうえで、必要に応じて現行の経営体制について検討を行う。

地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況（令和4年3月31日時点）

団体名	業種名	事業名	施設名
美瑛町	病院事業		－

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	広域化等	民間活用				
			指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	地方独立行政法人への移行	
							●

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

人件費の強い削減・機器の更新停止等、連続して経営改革とその努力は続けておりますが、収支は赤字のため町からの繰出金を一定額充当し運営を続けています。今後についても漫然と現状（の取り組みで）で良しとしているものではなく、地域医療を最低限守る事の出来る体制を維持しつつも、町立病院では病院建替に要した債務の返済終了時（２０２８）を目途に縮小を含めた大幅改革を図ることを目標とし、町民の皆様から理解を得ていくこととしています。そのため、現段階では廃止・民間委託・独法化などを明確に選択しておりませんので現状で回答するとすれば現行手法の継続です。